

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。  
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二四（令和六）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 A日程〉

国語

二〇二四（令和六）年一月三十日（火）

九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一 次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読んで、後の問いに答えなさい。(出題の都合上、本文を改めた箇所があります。)

【文章Ⅰ】

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(村上靖彦 『客観性の落とし穴』 より)

【文章Ⅱ】

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(原田和広『実存的貧困とは何か』より)

問一 【文章Ⅰ】——部(1)「社会はどうなっていくだろうか」という疑問に対する著者の考えが簡潔に表されている箇所を十二字で抜き出して答えなさい。ただし、句読点は字数に含まれません。

問二 【文章Ⅰ】——部(2)「このような事態」とはどのような事態ですか。本文の語句を使って四十字以内で説明しなさい。ただし句読点も字数に含まれます。

問三 【文章Ⅰ】の中の学生の質問(X)とコメント(Y)について、これらを具体的に紹介した筆者の意図を説明した次の文の **A**、**B** に入れるのに適切な語句を、指示に従って答えなさい。

(X)、(Y)のような学生たちの質問やコメントは **A** (【文章Ⅰ】から十三字で抜き出し) だと考えられるものであり、それらに対する筆者の経験や見解を説明することで、**B** (【文章Ⅰ】の語句を用いて二十字以内で考える) 必要性を訴えようとしている。

問四 【文章Ⅰ】——部(3)「つねに競争に脅かされて不安だからだ」について、【文章Ⅱ】からはどのような種類の競争が読み取れますか。解答欄に合う形で十字以内の語句を【文章Ⅱ】から抜き出して答えなさい。

問五 —— 部(4)「自分の芝生が果たして他者から見て本当に十分に青いのか」という表現は、「隣の芝生は青く見える」という慣用句に基づいています。これについて、(1)「隣の芝生は青く見える」とは、どのようなことを例える表現ですか。答えなさい。(2) —— 部(4)とはどういうことですか。例えを使わずに三十字以内で説明しなさい。

問六 【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】についての説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 【文章Ⅰ】は、客観的なデータと数値を過度に信仰することで、社会的弱者を排除する空気が社会全体に広まっていくことに注意をうながしており、社会の側の寛容さを取り戻す大切さを主張している。

イ 【文章Ⅱ】は、現代社会で支配的になった経済思想とSNSの普及によって、人々が際限のない経済競争に駆り立てられることを説明しており、利潤の追求よりも倫理や道徳の教育が必要であることを主張している。

ウ 【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】のいずれも、現代人の不安について説明しているが、【文章Ⅰ】では著者の身近な学生たちの置かれた環境に焦点を当てているのに対して、【文章Ⅱ】では世界全体に広げて問題を考察している。

エ 【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】のいずれも、競争にさらされる現代人の不安を説明しているが、【文章Ⅰ】は数字による評価をやめることで競争から解放される可能性を説き、【文章Ⅱ】は近代以前の価値観を取り戻すことを提案している。

オ 【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】のいずれも、競争にさらされる現代人の不安を説明しているが、【文章Ⅰ】は数値と客観性にとられる私たち自身にその原因を求めており、【文章Ⅱ】は経済や社会のシステムの面からその原因を考察している。

二 次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読んで、後の問いに答えなさい。

【文章Ⅰ】

著作物保護のため掲載を控えます



著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(村田沙耶香『コンビニ人間』より)

著作物保護のため掲載を控えます

(村田沙耶香「気持ちよさという罪」より)

問一 部①「肩身が狭い」、②「怪訝な」の本文中の意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 「肩身が狭い」

- ア 窮屈である  
イ 気軽である  
ウ 申し訳がない  
エ 寂しい  
オ ひげめを感じる

② 「怪訝な」

- ア 間違いを問い詰めるような  
イ 不思議で納得できない  
ウ 怪しげで気味の悪い  
エ 驚くほど奇妙な  
オ 本当かどうか確かめるような

問二 —— 部(1)「当然のようにエリが言う」について、エリがこのような反応をするのはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。

問三 —— 部(2)「苦笑いした」について、この時の「洋司さん(ミホの旦那さん)」の心情の説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 妻であるミホの友人にふさわしい相手を紹介したいと思いつつも、知り合いに独身者がいないことを苦々しく思っている。
- イ 恵子に誰かを紹介するという、実現の見込みのない提案をこっけいに思いつつも、真剣に取り合うように振る舞っている。
- ウ 恵子に誰かを紹介するという役回りを振られて都合悪く思いつつも、不快感をあらわにしないようにごまかしている。
- エ 恵子の相手について腹案があつて妻であるミホには耳打ちをしたものの、周囲には内緒にしておこうと取りつくるっている。
- オ 恵子に相手を紹介するという、思いつきの提案のおかしさに吹き出しそうになりながらも、平静を装おうとしている。

問四 —— 部(3)「ミホの旦那さんが小さな声で、『やべえ』と呟くのが聞こえた」について、この「『やべえ』」には「ミホの旦那さん」のどのような思いが表れていますか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分たちの「常識」を全く共有しない恵子が、自分たちの価値観に疑問を投げかけてきたことに対する不可解な思い。
- イ 自分たちが恵子のためを思っていた婚活の提案に、正面から歯向かってきた恵子に対する不愉快な思い。
- ウ 場の雰囲気盛り上げるためにしただけの婚活の提案に、恵子が立腹して反論してきたことに対する気まずい思い。
- エ いまだに独身でいる恵子に対して、「焦ってるでしょ?」と決めつけて怒らせてしまったことに対する申し訳ない思い。
- オ 恵子が触れられたくない結婚に関する話題で恵子を怒らせ、收拾がつかなくなったことに対する困惑した思い。

問五 —— 部(4)「自分にとって気持ちが悪い多様性」について、これはどのようなことが実現されている「多様性」だと考えられますか。【文章Ⅰ】の本文八十行目以降の表現を参考にして五十字以内で説明しなさい。

三 次の文章は『源氏物語』の一節です。主人公である光源氏が、恋人である夕顔が不気味な場所で物の怪けに取り憑つかれて死んでしまった後に、助けを待っている場面です。これを読んで後の問いに答えなさい。

【本文】

## 著作物保護のため掲載を控えます

(『源氏物語』・「夕顔」より)

【現代語訳】

夜中も過ぎてしまったのだろうよ、外がいささか荒々しく吹き荒れているのは。一層松の音が奥深く聞こえて、異様な鳥がうつろな声で鳴いているのも、「ふくろうとはこれであるのだろうか」とお思いになる。あれこれ考えると、あちらもこちらも人の気配がなく不気味な上に、人の声もしない。どうしてこのような頼りない宿を取ってしまったのかと後悔は晴らしようがない。右近は、正気を失って源氏の君にじっと寄り添い申し上げてぶるぶると震えながら死にそうである。

問一 —— 部(1)には、文節の順番を通常とは逆にして印象を強める表現技法が用いられています。このような表現技法を何と言うか、答えなさい。

問二 —— 部(2)について、光源氏は何に対してそう思っていますか。それを示す【本文】の箇所として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。



